

白根コミュニティ協だより

第46号

令和5年3月発行



白根灯台



発行 白根コミュニティ協議会
 連絡先 白根地域生活センター
 TEL・FAX 025-373-2800
 shirone.community@ninus.ocn.ne.jp



健康ウォーキング講座 in 白根

篠田浩子先生を講師に招き、11月から3回の講座を開催しました。

1回目は歩き方のくせや体のずれを確認しました。講義後、先生の指導を受け体育館内をウォーキングしました。



2回目、3回目は屋外ウォーキングをしました。自分の身を守る体づくり、しっかりとした足腰をつくり腰膝を痛めない動作法、不安定な道路面や坂道、階段の上りのウォーキング方法の指導を受けました。両日とも曇り空でしたが白根の街中を散策しながら約2.5kmを楽しみました。



白根地区敬老会

9月19日(敬老の日)白根学習館において、3年振りに開催されました。例年より規模を縮小しての開催となりましたが、大勢の招待者の皆さんから参加していただき、盛大な敬老会となりました。式典後のアトラクションでは、「糸の会」の皆さんから出演していただき、賑やかに長寿と健康をお祝いしました。



健康づくりウォーキング

10月22日(土)、湯沢町「大源太湖」周辺のウォーキングを楽しみました。南区を発する時は曇り空でしたが、現地では晴れ間も見え、景色を楽しみながら約1時間のコースを歩きました。



防犯協会白根支部 活動報告

* 凧フェスティバル防犯啓発活動
 10月2日、凧フェス会場において実施しました。白根支部役員、南警察署、南区役所職員に加え、わんわんパトロール隊員が参加し、防犯啓発品やチラシを配布しました。



* 年末防犯街頭啓発活動
 12月15日、白根高校ヤングボランティアも参加し、年末街頭啓発活動を実施しました。原信白根店とイオン白根店に分かれ、特殊詐欺防止等呼びかけました。



白根地区

「コミュニティ懇談会」

令和4年11月17日、白根地域生活センター体育館において開催され、活発な意見交換が行われました。

〈質疑概要〉

〔問〕今年令和4年、昨年は令和3年で

「観光複合施設「もも・ラコッテ」について

〔発言〕観光複合施設「もも・ラコッテ」の開発に地域活性化への期待を寄せているが、未だに工事が着手されていない。

現在の進捗状況と今後の予定について教えてほしい。

〔回答〕「もも・ラコッテ」は民間提案による開発になります。

提案エリアは開発が難しい場所でしたが、まちづくりの地区計画を都市計画決定し、開発行為が可能となりました。

来週21日には第四北越銀行が新店舗に移転しますし、もう1店舗が近々オープンすると伺っています。

今後の未開発エリアについては、民間開発であるため、いっとうな

るということは分かりませんが、地域の賑わいにつながるようなものを南区創生会議が中心となって検討しています。

「今年度の白根大風合戦開催後の検証について」

〔発言〕今年の白根大風合戦は、新型コロナウイルスを考慮しながら通常期間で開催したが、来年に向けて、課題などの総括や対策の検討などは行っているのか。

〔回答〕風合戦会場の堤防に上る際には検温、消毒などの感染症対策を講じて開催した結果、クラスター等の発生はなく、対策として適切であったと考えています。

来年度の開催についても、感染状況を注視しながら国や県のイベント開催基準に沿った対策を講じ、関係機関と調整を図りながら準備を進めていきたいと考えています。

「いいがた2km（にきろ）」

〔発言〕「いいがた2km（にきろ）」の取り組みが、6月14日の新潟日報に掲載されていた。

新潟駅前の歩道を広げる社会実験をはじめ、8区の特産品を集めた「食花マルシェ」や「先端技術を活用した8区」との連携などが

紹介されていた。

南区としての具体的な取り組みやどのような相乗効果を期待しているのか教えてほしい。

〔回答〕「いいがた2km」とは、新潟駅、万代、万代島、古町をつなぐ約2kmを指します。

8区の特徴ある農産物や加工品などを一堂に集めた「いいがた2km食花マルシェ」や「いいがた2kmフラワーフェスタ」などに南区観光農園協会からも出店いただき、南区の魅力を発信することができたと感じています。

都心エリアの活力と市内8区を持つ良いところを結びつけることで、新たな価値の創造につながるものと期待しています。

「休日部活動の地域移行」

〔発言〕教員の働き方改革や少子化の進展で学校単位による部活動が困難になる中、公立中学校で休日の部活動を地域のスポーツクラブなどに委ねる「地域移行」の方向性を教えてほしい。

〔回答〕令和8年4月からは休日の部活動は学校としては行わず、地域活動に移行する考えです。そこで、令和5年4月より地域移行に

向けた準備を開始していきます。

今年度はサッカー、陸上及び野球の分野で、地域の外部指導者や協会指導者などによる実証検証を行っています。

今後、PTAや保護者への情報提供を行い、地域への周知もしていきたいと考えています。

〔発言〕昔から学校教育で必要だったから部活動があったと思うので、目先の問題を解決するだけでは根本的な解決にはならない。

〔回答〕部活動は学年間の交流が図られ、学習以外で教員との信頼性が生まれるなど、教育の効果が発揮される場だと思えます。

部活動を地域に移行することで、自分の学校ではできなかったようなスポーツを選択できるというメリットもあります。

「ヤングケアラーについて」

〔発言〕県がヤングケアラーの実態調査をした結果「世話をしている家族がいる。」と回答した中学生は、全国平均より多かった。

県は支援体制を促進するためのコーディネーターを配置するようだが、市の取り組みや支援体制を教えてください。

回答 ヤングケアラーは法令上の定義はありませんが、本来大人が担うとされる家族の世話などを日常的に行っており、子ども自身の権利が侵害されている18歳未満の子どもです。

ヤングケアラーについては「周囲の大人が気づく」ことが重要と捉え、チラシやリーフレットで市民や関係機関へ周知するとともに、民生委員・主任児童委員への説明会を開催し、早期発見・把握に努めています。

区の健康福祉課では、今年4月から「子ども家庭総合支援拠点」を設置し、2名の専門職員を中心とした支援体制を整えています。

発言 区役所に担当者がいたとしても、実際に手を挙げて相談できる子どもは少ないと思うので、そこをどうしていくのか。

回答 自分がヤングケアラーだと認識できていない子どももいると思うので、支援体制を構築する一方、子ども達にも周知していきたいと思います。



「将来に向けた持続可能な食と農の創出プロジェクト」について

発言 持続可能な食と農の創出に向け、農業を教育や福祉、観光など幅広い分野と連携させ、新しい価値を生み出す取り組みのほか、デジタル技術を活用した取り組みを進めていくとのこと。

南区におけるスマート農業の取り組みや今後の施策などを教えてほしい。

回答 市ではスマート農業の実証実験を実施しており区ではICT実証試験やICTモニタリングなどが行われているほか、実用段階となっているGPS直進アシスト機能付き田植え機やドローンを使った農薬散布・生育診断などが普及してきています。

実証実験を経て実用化、製品化された農業機械などは高額なため、スマート農業導入への補助事業により、普及を支援しています。



白根お互いさま支援隊

お一人暮らしやご高齢の方の困り事(生活支援)をいたします。
お困りごとがある方はお気軽にご相談ください。



対象者: 白根地区にお住まいの方

・一人暮らしの高齢者 ・高齢者のみの世帯 ・お体の不自由な方など

活動内容: ・ごみ出し ・草取り ・除雪(手作業のみ)

ごみ出し	燃えるゴミ 100円/回 ※量や頻度で応相談(1人体制)
草取り	一人1時間 500円(2人体制)
除雪	一人1時間 500円(2人体制)

料金: ・一人1時間の作業で500円ですが、活動時は2人一組でお伺いするため、二人1組1時間の作業で1,000円になります。

※支援する人は地域の住民の方が有償のボランティアとして活動を行います。

《ボランティアさんを募集します》

少しだけ時間の取れる方、都合のよい時だけ、ご協力をお願いします。
ボランティアできる方も、是非事務局へご連絡ください。

問合せ: 白根地域生活センター 電話・FAX 025-373-2800
和田 090-3083-0840 星野 090-8704-1689

受付時間: 10時~15時 ※土日祝日を除く
電話に出られないこともありますのでご了承ください

※その他の困り事は・・南区お互いさま 090-2232-3739 にご相談下さい

